

1. 後期見直しの目的

計画期間の中間年度に当たり、前半4年間の施策の進捗状況の評価、社会情勢や課題の変化を整理し、施策の見直しを行うことで、後半4年間のさらなる推進を図ることを目的とする。

2. 計画期間

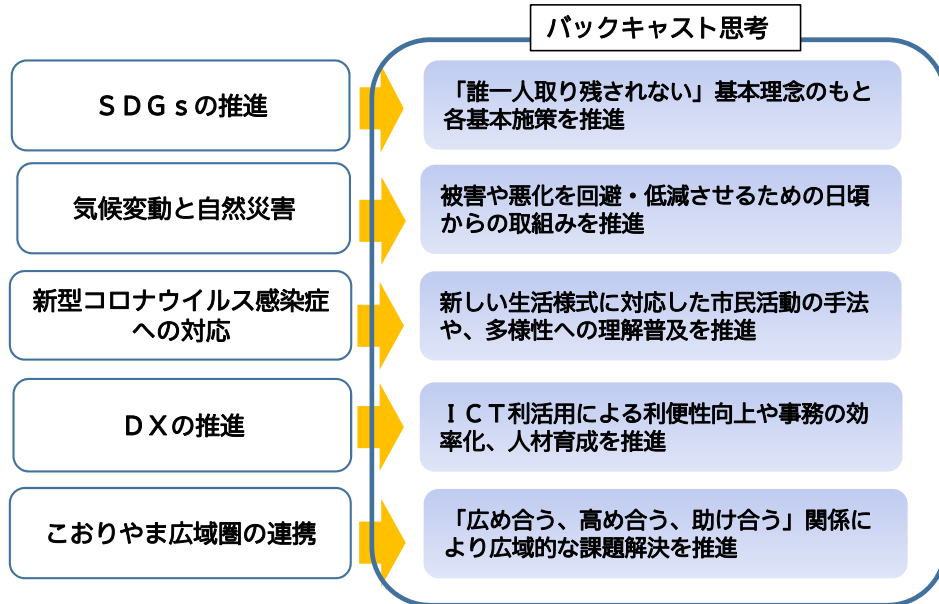
	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
郡山市まちづくり基本指針				後期見直し				
第二次郡山市協働推進基本計画				後期見直し				
第二次こおりやまユニバーサルデザイン推進指針				後期見直し				

計画期間は2018年度から2025年度までの8年間。
本市の最上位計画「郡山市まちづくり基本指針」においても、中間年度である2021年度に、後期4年間の推進に向けた取組方針等を整理し、後期見直しを実施。

3. 見直しのポイント

【1】社会情勢の変化と本市の施策の動向の分析

以下のような大きな社会情勢の変化に対応し、2025年、2030年など予見可能性の高い将来課題や目標からのバックキャスト思考で各分野で施策の改善や強化を図る。



- 【2】協働・UDを取り巻く状況の分析
- 【3】前期の指標の進捗状況と評価及び課題

別紙(3/4、4/4)に記載

4. 見直しの概要

(1) 施策推進のための視点を追記

本計画の「あるべき将来像(基本目標)」、「基本方針」、「基本施策」の構成を継続した上で、協働推進基本計画第4章・ユニバーサルデザイン推進指針第5章に

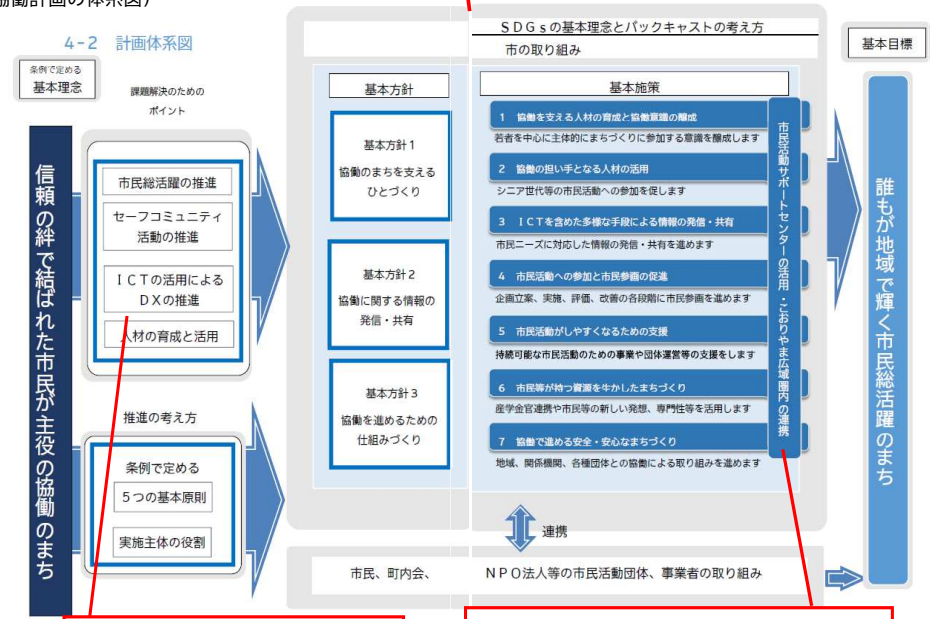
- SDGsの基本理念とバックキャストの考え方
- 気候変動・自然災害への対応
- 新型コロナウイルス感染症への対応
- DXの推進
- こおりやま広域圏の連携

の視点を追記した。

(2) 計画体系図の追記

SDGsの基本理念とバックキャストの考え方を市の取組みに追記

(協働計画の体系図)



ICTの活用によるDXの推進をポイントに追記

こおりやま広域圏内の連携を横断的な施策として追記

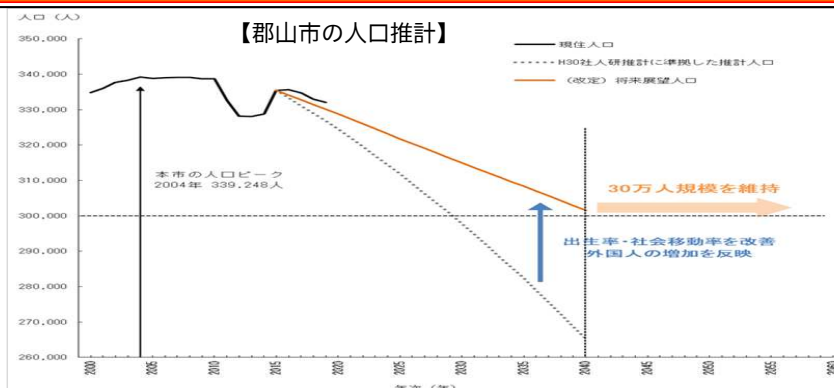
4. 見直しの概要

(3) 指標の追加

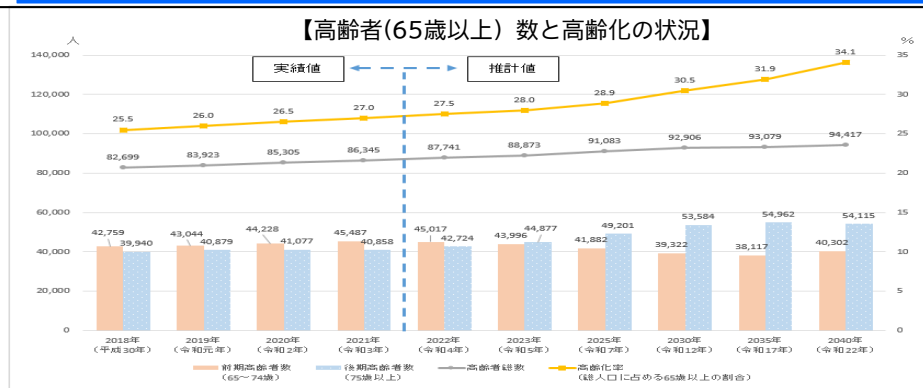
施策の進捗状況を適切に把握し、今後の評価や検証、改善に生かすため、指標の充実を図った。

協働計画_基本施策	追加した主な指標	指標の設定理由	UD指針_基本施策	追加した主な指標	指標の設定理由
【全体】	● 市民協働の重要度	市民協働の重要性について市民意識の変化を確認するため	【全体】	● ユニバーサルデザインの重要度	ユニバーサルデザインの重要性について市民意識の変化を確認するため
【基本施策1】 協働を支える人材の育成と協働意識の醸成	● あさかの学園大学卒業・修了生数 ● こおりやま広域圏わかものボードレスプロジェクト参加者数	高齢者や若者等あらゆる世代の人材育成と協働意識の醸成の進捗状況を確認するため	【基本施策1】 思いやりの心があふれるひとづくり		
【基本施策2】 協働の担い手となる人材の活用	● ファミリーサポート事業の「まかせて会員」「両方会員」の実活動会員数	働く世代をサポートする人材の活用の進捗状況を確認するため	【基本施策2】 多様性を認め、いのちと人権を尊重するひとづくり	● ゲートキーパー養成研修等の参加者数 ● 性的マイノリティへの理解促進のための講座等啓発人数	自殺対策や多様性への正しい理解の進捗状況を確認するため
【基本施策3】 ICTを含めた多様な手段による情報の発信・共有	● 「わかりやすい情報発信ができて」と感じる人の割合（広報紙・SNS・web） ● ICT活用のための市民・市民活動団体等対象の講習会の受講者数	わかりやすい市政情報の発信と情報格差の解消、DX推進の進捗状況を確認するため	【基本施策3】 誰もが利用しやすく安全・安心な交通・移動環境	● 市内乗合タクシーの導入地区数 ● 通学路安全点検の実施・対策済箇所数(累計)	公共交通手段の確保や安全な道路整備の進捗状況を確認するため
【基本施策4】 市民活動への参加と市民参画の促進	● 1人1日当たりのごみ排出量 ● 市全体のリサイクル率	気候変動に対応するための身近な市民活動への参加の進捗状況を確認するため	【基本施策4】 誰もが利用しやすく安全・安心な施設	● 赤ちゃんニコニコステーション事業登録施設数(累計) ● 公園トイレのUD率	民間・公共施設のユニバーサルデザイン化の進捗状況を確認するため
【基本施策5】 市民活動がしやすくなるための支援	● 市民活動団体向けの各種講座の受講者数 ● スモールスタート支援事業採択件数	市民活動の財源、ノウハウ等の支援の進捗状況を確認するため	【基本施策5】 ICT活用を含めた多様な媒体を活用した誰にでも分かりやすい情報伝達	● 「わかりやすい情報発信ができて」と感じる人の割合（広報紙・SNS・web）	わかりやすい市政情報の発信の進捗状況を確認するため
【基本施策6】 市民等が持つ資源を生かしたまちづくり	● NPO、市民活動団体等と市の協働事業数 ● 農商工観連携により創出された商品数(累計)	市民団体や産学金官の連携と専門性の活用の進捗状況を確認するため	【基本施策6】 利用者の立場に立ったサービスとおもてなし	● 手話通訳者、要約筆記者の派遣件数 ● 音声コード付きの市民向け印刷物の作成件数 ● 多言語（外国語）またはやさしい日本語により制作した情報媒体数	多様な特性への配慮と円滑なコミュニケーションの推進状況を確認するため
【基本施策7】 協働で進める安全・安心なまちづくり	● 災害情報等レポート数	SNSを活用した防災への市民参加の進捗状況を確認するため	【基本施策7】 市民協働によるユニバーサルデザインの推進		
			【基本施策8】 災害時のユニバーサルデザインの推進	● 避難場所表示看板の累計整備数（整備率）	安全な避難体制整備の進捗状況を確認するため

協働を取り巻く状況



ユニバーサルデザインを取り巻く状況

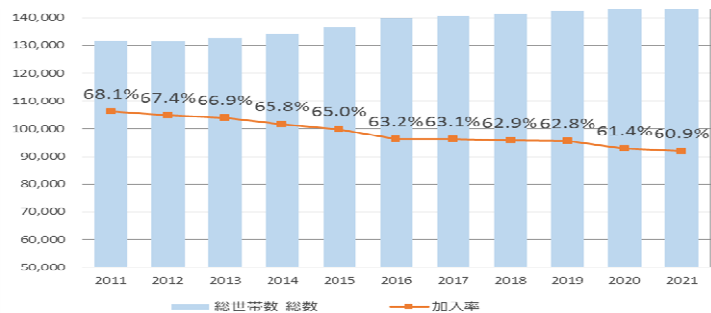


人口減少と少子高齢化

- 子どもや若者、高齢者等あらゆる世代のまちづくりへの参画・活躍が必要
- ライフスタイルの多様化への対応が必要

- 妊産婦や子ども連れ、高齢者が暮らしやすいまちづくりが必要

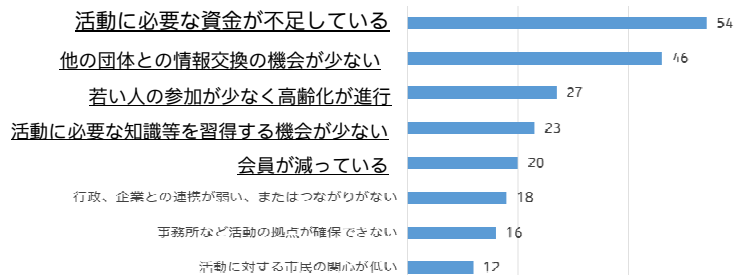
【郡山市の町内会加入率の推移】



地域コミュニティの希薄化

- 地域コミュニティの果たす役割の理解促進が必要
- 若い世代の参加や活動の効率化の支援が必要

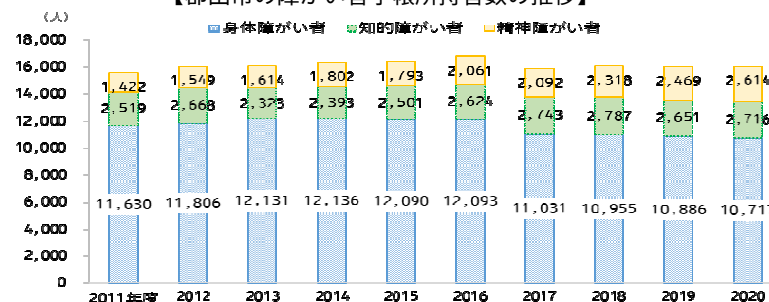
【市民活動団体の抱えている課題】



NPOや市民活動団体の財政基盤の課題や担い手不足

- 活動段階やニーズに沿った支援、団体等の連携推進が必要

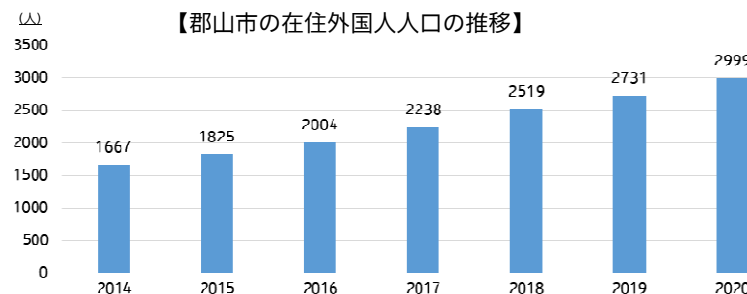
【郡山市の障がい者手帳所持者数の推移】



身体障がい者数の減少、知的障がい者・精神障がい者数の増加

- 障がい者手帳の有無に関わらず、多様な特性を持つ人への配慮が必要

【郡山市の在住外国人人口の推移】



在住外国人の増加

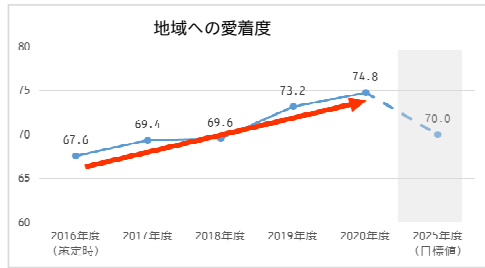
- 円滑なコミュニケーションや多文化の理解促進が必要

ICTの進展

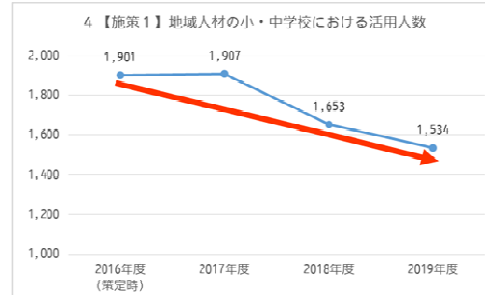
- 情報格差の解消と誰もがICTの恩恵を受けられる環境づくりが必要

協働計画の前期の指標の進捗状況

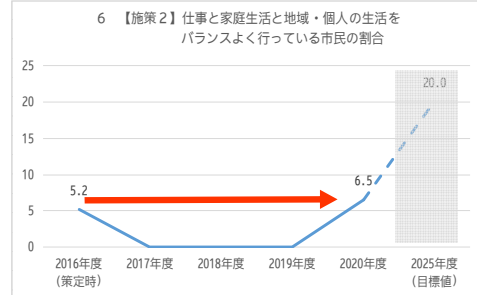
【全体指標】



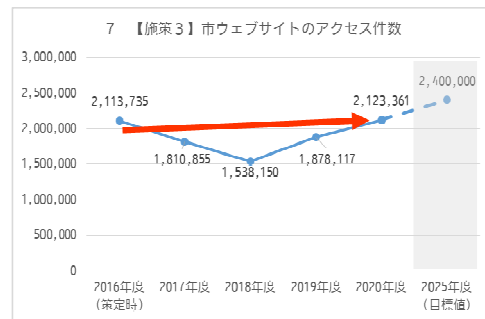
【基本施策1】 協働を支える人材の育成と協働意識の醸成



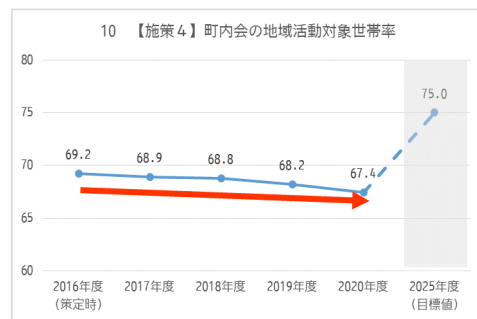
【基本施策2】 協働の担い手となる人材の活用



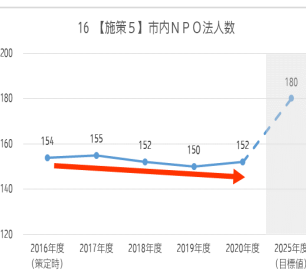
【基本施策3】 ICTを含めた多様な手段による情報の発信・共有



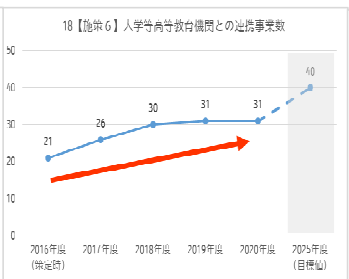
【基本施策4】 市民活動への参加と市民参画の促進



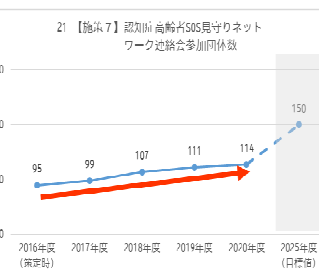
【基本施策5】 市民活動がしやすくなるための支援



【基本施策6】 市民等が持つ資源を生かしたまちづくり

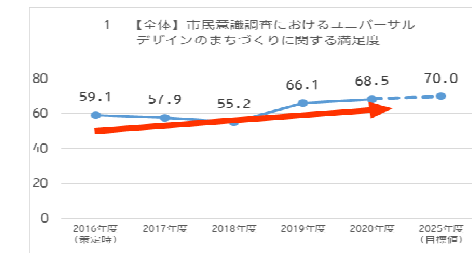


【基本施策7】 協働で進める安全・安心なまちづくり

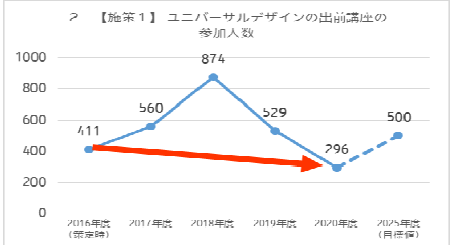


ユニバーサルデザイン指針の前期の指標の進捗状況

【全体指標】



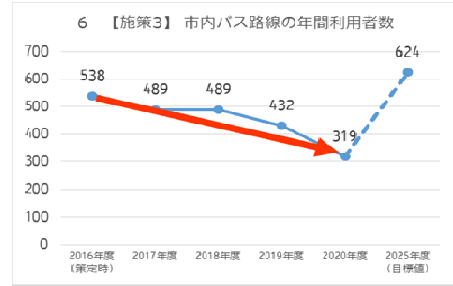
【基本施策1】 思いやりの心があふれるひとづくり



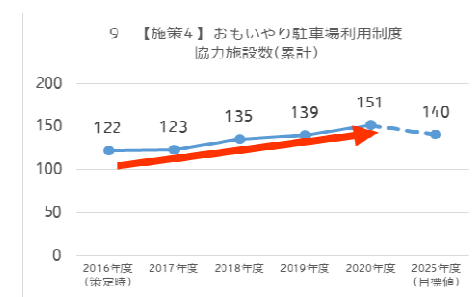
【基本施策2】 多様性を認め、いのちと人権を尊重するひとづくり



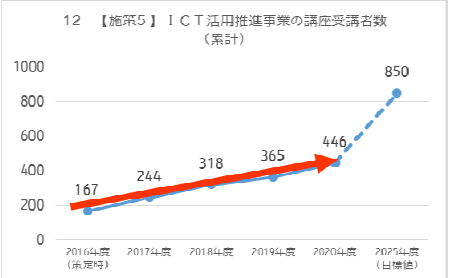
【基本施策3】 誰もが利用しやすく安全・安心な交通・移動環境



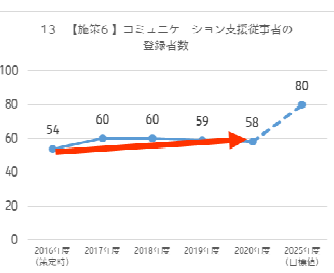
【基本施策4】 誰もが利用しやすく安全・安心な施設



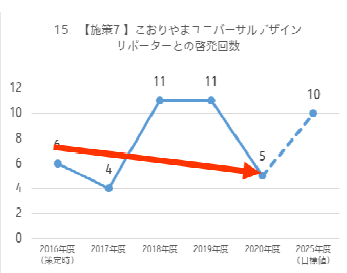
【基本施策5】 ICTを含めた多様な媒体を活用した誰にでも分かりやすい情報伝達



【基本施策6】 利用者の立場に立ったサービスとおもてなし



【基本施策7】 市民協働によるユニバーサルデザインの推進



【基本施策8】 災害時のユニバーサルデザイン

